

読者から

第二十二号読ませてもらいました。無縁仙が何故悪いは特に興味深々でした。私も無縁仙死を希望しています。

人間死んだら100%無であるだろうから否、神秘的な見地から考えて完全に無でないにしても、身内の墓に入れられて一緒に葬んでもらったって別にどうも事ないと思います。私は孤独が好きになっと思っていますから、なるべくなら誰からも一切干渉されない完全無縁死を望んでいます。

それから天王寺村の記念碑の事で、維持管理で心配している人が居るとの事ですが、人間社会を広い視野で考えた

ら、そこで寧ろぼろと飲んで喰おうと、べちゃく話合をする場になったってかまわないんじゃないかと思えます。もっとも訪れる人に迷惑を掛けるような事はしない方が良いでしょう。

最後に二十二号に關して少く指摘させていただきますと、紙面のつづりが一部入道えていました。印刷が薄くて読みにくい所がありました。

これから寒くなり酒の美味しい季節になります。

編集員の皆さんも適にたなおよびにいてアル中にはならないように頑張ってください。

意見等云える柄じやないけど気楽に書かせてもらいました。失礼。

豊川信雄 (三六才)

X

X

(傍) 二十二号印刷などの不始末は、ヤリの責任であります。お詫び申し上げます。

酒に關しては、御心配のようには、。渡世"づくりの作業もそこそこ一杯いこ"となりかちで、二十三号の発行も遅れがち。それでもアル中になるほどではない、と思っております。

X

X

拝啓 双号らくがき特集はおもしろく、飯場情報は有益にて候。さすらいびどの子守唄

渡世無頼のはみだし君いつか創れるその日まで命はって生きてます

渡世の義理です

今日もカラクソ元気ががんばりましょう

エーヤコドックコイシヨ
マールコガシタイ

北山 修

前略 「柳井屋」火事の記事を
読んでみると、「千成ホテ
ルの時の特集を読んでるよう
で……いつも振る舞うのは弱
者なのです。」

ところで千成といえはあの
山田一族ですが、私が高校の
時、山田治の一人息子と和英
と同時に出た。

和英ときたら、「レストラ
ン」をやっている……なごとう
そをついてましたよ。こゆい
「レストラン」もあるそんで
す……!!

森川栄三 (一九九〇)

皆さんお元気ですか、初め
てお目に掛ります。なに気な

く読んでたところ得るところ大
なりです。

私も万博の頃流れて来た一
労務者ですが、出来れば金々
崎の歴史を知りたいのですか
？ 昔の金の苦……そして、
その変遷に興味を覚えます。

今後とも益々労務者達世の発
展を心より祈ります。これか
ら愛読させて頂きます。頑
張ってネ。

風吹しのぶ (一九八〇)

マスコミ評論は月号で紹介
しておきました。

がんばって下さい。

猪野健治 (四二二〇)

前略 労務者達世。楽しく
読ませていただきました。

なつかしさ……苦勞した時
そして金の苦しかった思い出

が身にしみます。現在でも西成
がともなうかしく思っています。

読書の好きな私が、図書館で
ちよっと手にした。労務者達世が
私の人生でとても印象に残る思
い出です。

今後とも皆様がんばって来
い本を出して下さい。

生地武征

長次にて採取(らくがき)

男子達の

おなじかるべき
よろずよに
かたりつぐべき

名はたてずして

(よみびとくらず)
カンバレヨ ワカイン

伊藤志雄

前略 本日図書館にて労務者達
世拝読。なつかしさで西成金々

崎の思い出が身にしみました。

私も事情があつて西成に四
年ぐらいい、おしとんと楽しさ
として人生の喜怒哀楽を……充
分に楽しんできて来たつも
りです。

今後「労務者達世」拝読し
たいと思います。

名古屋 T・I

前略 一日一日毎日の生活が
仕事や、気候、交友などの不
安定ななやみから離れ様
としない今日この頃

さて気付く事は今年一年も
アットミウ間に告げられ事を
思つと、心の重圧は何んとし
ても激しく見つめて拂いの片
なければと努力し、あやまっ
てはならないと自省していま
す。

ところで、今回労務者の後援

となって、心の拠り所を知り
の導入に、ニュースを読んで下
さる番を開き期待します。

堀井穂彦

職業の転々は或る人生の運命
かも知れない。

二〇才過ぎまでカリエスを思
つて、寝たり起きたり、入院し
たり、退院したりの繰り返しで
病院生活中は時間をとてあそん
で、読書を三昧に耽る。文学を
読みあさり、哲学にこり、宗教
をかじる。

人生とは何ぞや、何故生きな
くてはならぬのか、何故苦痛を
背負わなくてはならぬのか、何
故比の世に差別が存在している
のか。さまざまな角度から六尺
の道場へ病床ベッドで学びと

り、教訓を体得した。

快復して退院するや、働き
たくて働きたくてもあらず致
し、重傷器具組立、牛乳配達、
ラーメン屋台引き、電話工事、
プラスチック成形工、パチン
コ店員、造船所の工員、シャ
ーリングの工員、アレスエ、
よくも永続きしないものであ
る。

然るにこれらの職業を通じて
種々の人生エピソードを会得し
た。涙あり笑あり、ドラマ
加あつて、貴重な体験でもあ
った。

とどのつまり釜に来てアン
コ稼業に落着いた。

比の三月にはじめてまだ素
人ですが、気楽な職業だと感
じた。会社の組織なら、上に
たてまつる、下に突き上げら

れる。この事がないだけでも、
すがすがしい解放感である。

然し朝は早いものだったと
は、これさえ我慢すれば上々
である。

きのうやの手許に行き、下
から丸太をロープに絡んで
インチに巻き上げる作業。何
しろロープの結び方を知らず、
おろろくしている上です。こ
らっ、結び方知らぬのか？
どなられて、ひや汗をかき、
はらはら、おろおろしている
と、六層の足場から降りて来
た。この様なひげの親方が、
外にやさしく、親切に「い
いね、結び方教えてくれた。
私はすっかり感激してその
人に心酔してしまつた。

今村学舎 (四三才)

新聞切抜

出勤途中によく見かける大
阪駅周辺の浮浪者。この中に
元一流商社員も。働かず、税
金も払わず、体制に寄生する
のが新しい哲学というヒッピ
ー論が数年前流行した。この
元商社員も「自由にあこがれ
て」というが、汚れと腐敗が
目立った。不況のなかで、終
戦直後のガード下の悪夢がよ
みがえる。

読売七七・一一・一〇

「彼岸雪浪」に見舞われた
連休期間中の二十一日、大阪
市西成区のあるりん地区へ登
ヶ崎一帯で、三人の労働者
の死体が見つかった。雪で、
やけんかなどで死したとみ
られるが、うち二人は身元不

明。西成区の話では同じような
労働者の死は不況にあけた今
年、同管内でこれまでに約十
人に達し、うち三割が身元不
明。人知れず無縁仏として葬ら
れる。

朝日(タ)七六・三・二二

西成区・花園公園のテント村
に十四日から収容されていた愛
媛県南中郡城辺町出身、植元
弘さん(三)が二十四日夜、住吉
区の阪和病院で手当を受けて
いたが、二十五日午前八時すぎ
死んだ。

住吉署の調べによると、植元
さんは昨年十一月十八日から無
力症で通院していたが、この十
三日で通院をやめ、花園公園の
テント村で過ごしていた。

朝日 七五・二・二六

読者文壇

一、飯場の親父にや どやされて
現場の監督にや せかされる
だけどおいらは マイペース
この身一つが 資本じゃないか
ツル持って ホイホイ
スコ持って ホイホイ

二、真夏の天気には あせだくで
真冬の天気には 吹きさらし
土方稼業のつらいとこ
明日も元気にやろうじゃないか
ツル持って ホイホイ
スコ持って ホイホイ

一、住めば都と 人は言うけれど
だれが好んで 西成ぐらし
萩之茶屋にも 世間と同じ
ヤケに冷たい 雨が降る

二、あいつもこいつも 気のいい奴ら
合えば囲んで 酒を飲む
萩之茶屋にも 世間と同じ
やがてめがでる 春が来る

安川

値上げでも広くならないドヤ一疊

蓋ヶ崎 太郎

ウカツな坊主

それが本当だとすれば、ほんまにうかつなボンサンヤ。

三角公園で毎年無縁仏の慰霊祭なんなのか

一七〇〇円かな

加藤

もつとも、四天王寺の管長、所が広いのか
金に弱いのか知らないが、ヘンな所で、イン
なところとのつながりがあることを見せて、
なかなか俗世界との結びつきを強くなところ
を見せている。

南邊天王寺鐵と惣務園前西店街との路切の
近所に箱板さんかはんかの祠がある。そこに
やつぱり出口高長の墓に在る鎮魂碑がある。
それこそは、何をかくそつかの有名人松
田組のものなのだ。